

# 鵬学園、星稜破り3年ぶりV



優勝を決めて喜ぶ鵬学園の選手と、うなだれる星稜の選手＝県西部緑地公園陸上競技場

## 県高校サッカー

第98回全国高校サッカー選手権大会県大会(県高体連など主催)の決勝が3日、金沢市の県西部緑地公園陸上競技場であった。延長戦の末、鵬学園が2-1で星稜を破って優勝。12月30日から首都圏で開かれる全国選手権に、3年ぶり2度目の出場を決めた。

前半5分、星稜が千葉大護選手(2年)のゴールで先制したが、鵬学園も後半10分、コーナーキックに坂本健太選手(3年)が頭で合わせ、同点に追いついた。勝負は80分で決着がつかず、延長戦に突入。両チームとも決めきれずにいたが、延長後半8分、鵬学園は途中出場の宮本爽汰選手(同)がシュートを決め、勝利を手にした。



小松市立苗代小・第一小・中海小＝北村玲奈撮影

「したい」と笑顔だった。赤地信彦監督(34)は「ホッとしている。勝因は後半から落ち着いてできたこと」と

話した。星稜は3年連続29回目の全国選手権出場を逃した。(三井新)

## のびのび銅



全国大会

### 小松市立苗代・第一・中海小29人

第1回全日本小学校合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催)が3日、東京の新宿区立新宿文化センターであり、小松市立苗代・第一・中海合同は銅賞を受賞した。

大会には35都道府県から39団体が出場。中部支部代表の小松市立苗代・第一・中海は全国大会に向けて結成された、この大会唯一の合同チーム。市内三つの小学校の2年生から6年生までの計29人がステージに上がった。課題曲の「鳥かねもん勘三郎」をのびのびと、自由曲の「ずいずいずところばし」(池辺晋一郎作曲)を動作を交えて楽しく歌いあげた。

指揮をした第一小学校の太田英一教諭は「6年生が3校の子どもたちをよくまとめてくれた。将来、世界で歌う夢を目指して童歌を歌いました。ちょっと緊張したけど頑張ってくれました」と話していた。